

宇都宮大学に求められる学長像について

平成28年1月14日

国立大学法人宇都宮大学学長選考会議

宇都宮大学は「人類の福祉の向上と世界の平和に貢献する」という理念の下で、栃木県の多様で豊かなフィールドを活かした実践的な教育・研究を基盤として、社会の中核を担う人材の育成と知の創造・発信を着実に重ねてきた。

第3期中期目標期間では「活力ある持続可能な地域社会の形成」、「グローバル化社会への対応」、「イノベーション創出」を基本方針とおき、「行動的知性」を備え広く社会の発展に貢献する人材の育成、独創的な特色ある研究による新たな「知」の創造、地域やステークホルダーとの双方向性を高めた活動を積極的に進め、地域の知の拠点としての機能を一層強化する。

そのため、構成員全員が相互の信頼と協働を重んじながら、主体的に挑戦し(Challenge)、自らを変え(Change)、社会に貢献する(Contribution)という3C精神をモットーにして、躍動感溢れ進化を続ける大学を目指す。

学長には、その実現を迫及する強い意志を有するとともに、次のような資質・能力が求められる。

- 人格が高潔で、学識が優れ、国際的視野を有し、かつ、本大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。
- 本学の理念を実現するための明確なビジョンを持ち、強いリーダーシップを発揮し構成員とともに改革を実行できる能力を有すること。
- 地域活性化の中核的拠点としての機能充実を図り、地域との協力関係を構築できる調整力と行動力を有すること。
- グローバル化とイノベーションの創出に適した環境を形成し、さらに推進する実行力を有すること。
- 国の内外において本学の存在感を示すための発信力を有すること。

以上